



学校だより

おーい大空

令和8年1月30日
佐久平浅間小学校
NO. 10
佐久市長土呂 1717
0267-66-1717

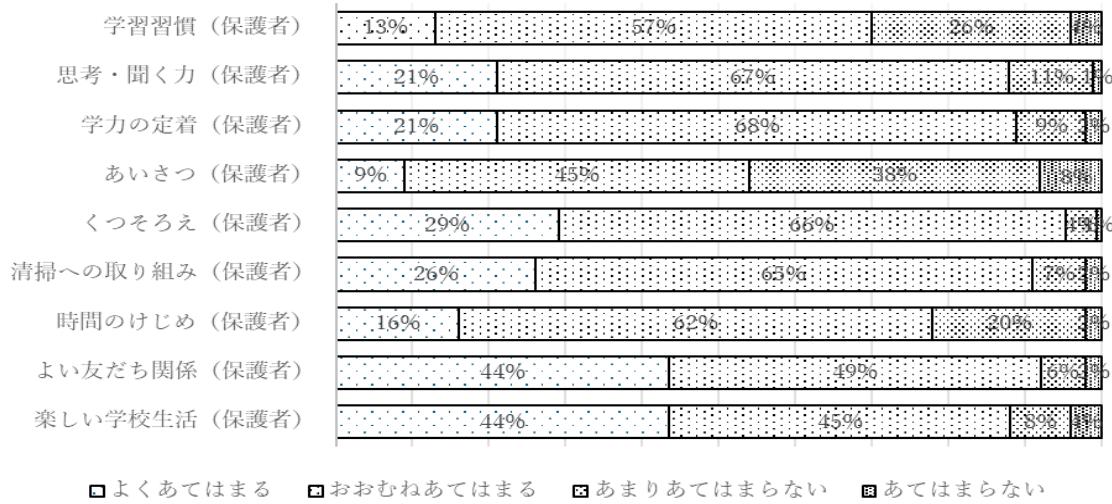
学校評価特集号

「学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。本号では、学校評価の結果とそれにに対する考察をお知らせいたします。多くの皆様に前向きな声を学校に届けていただきました。本当にありがとうございました。地域や保護者の皆様からの励ましの声は何よりのエネルギーとなります。今後もご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

改善点としてご指摘・ご提案いただいた内容につきましては、真摯に受け止め、学校運営の課題として改善を図ってまいります。

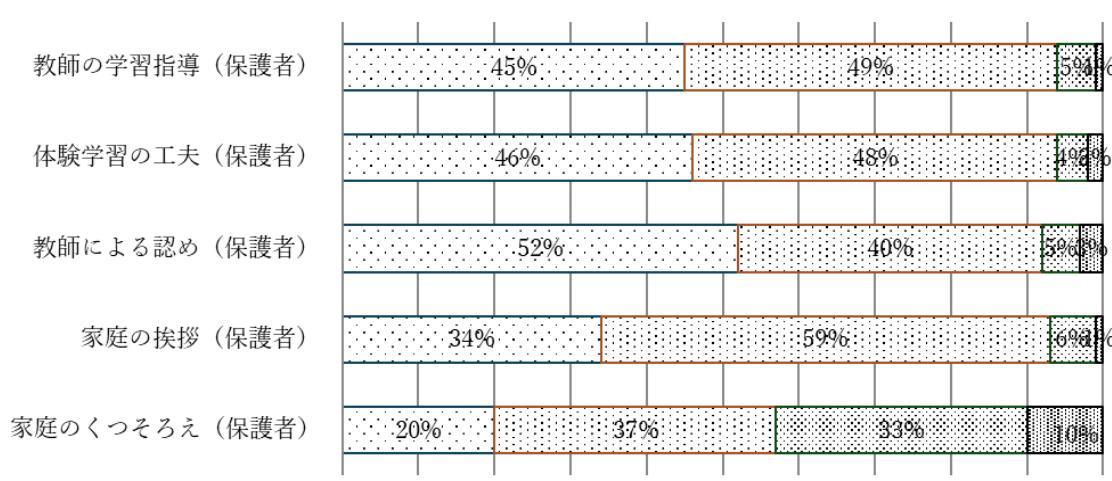
<保護者アンケートから>

保護者の評価（児童の学習・学校生活）



保護者の評価（学校の教育活動・家庭生活）

□よくあてはまる □おおむねあてはまる □あまりあてはまらない □あてはまらない



【 全回答に対する肯定的評価および昨年度との比較（数値は%）】

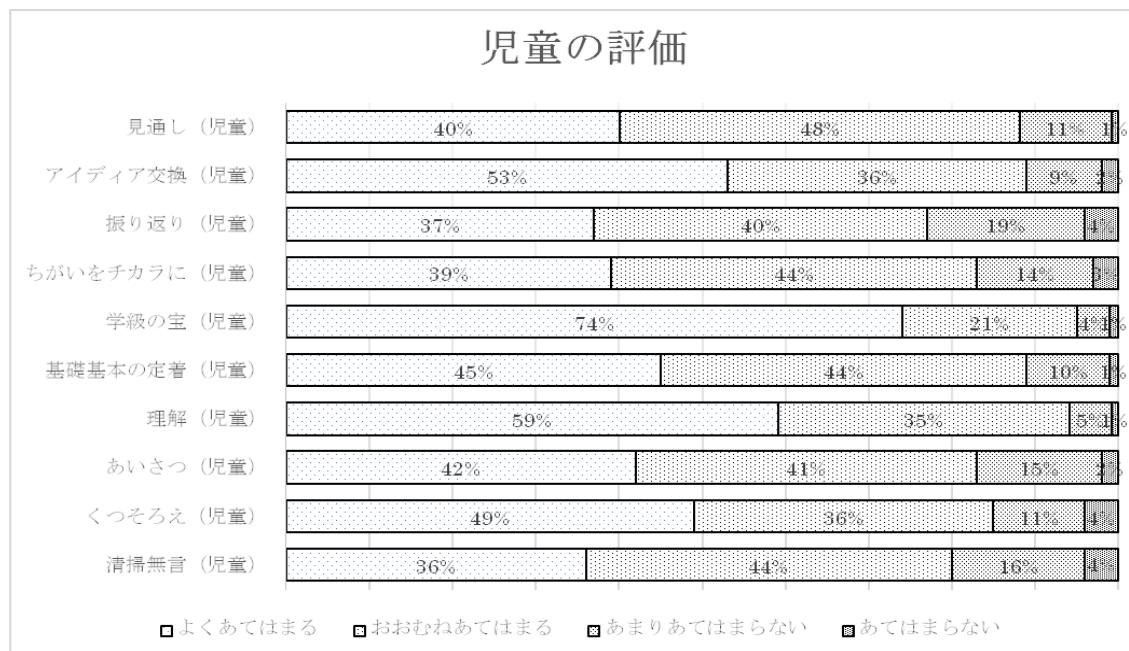
項目	令和6	令和7	比較	項目	令和6	令和7	比較
学習習慣	75	70	-5	教師の学習指導	95	94	-1
思考・聞く力	90	88	-2	体験学習の工夫	95	94	-1
学力の定着	91	89	-2	教師による認め	95	92	-3
あいさつ	58	54	-4	家庭の挨拶	88	93	+5
くつそろえ	96	95	-1	家庭のくつそろえ	48	57	+9
清掃への取り組み	89	91	+2				
時間のけじめ	81	78	-3				
よい友だち関係	96	93	-3				
楽しい学校生活	97	89	-8				

※肯定的評価：「よくあてはまる」または「おおむねあてはまる」

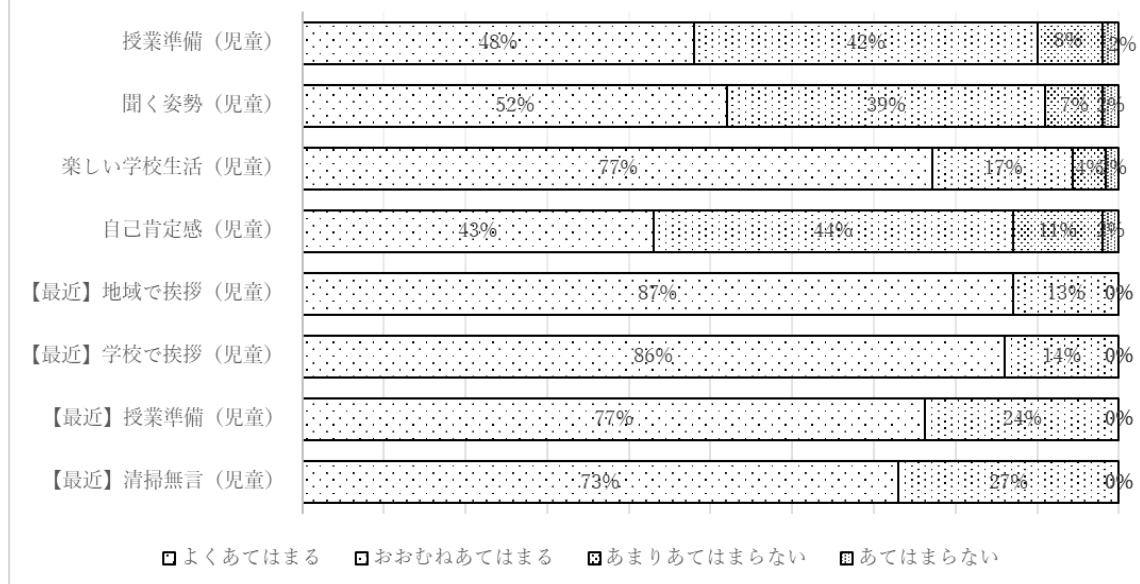
【考察】

- ・「教師の学習指導」「体験学習の工夫」では、94%の保護者が肯定的に評価しています。本校では、知恵の木科、学級の宝活動、また各教科を通して様々な場面で探究的に学べるような時間を設定してきました。本年度もアウトプットデーを開催し、地域の方や保護者の方から子どもたちにフィードバックを頂きました。探究的な学びを通して、自ら問い合わせをみつけ追究する過程で、その先にある問い合わせをもち、主体的に学べるための能力を育みます。今後とも本校の中核を担う軸として研究を重ねて参ります。
- ・「あいさつ」は 54%にとどまり、他の項目に比べて肯定的な評価は低くなっています。地域での旗振りをされた際にお感じになった方が多いと思われます。あいさつは人間関係をつくるうえでの基本となる行為のひとつです。クラスの仲間どうし、子どもと職員が安心して心を開け、自然とあいさつができるようにしていきます。職員が率先して手本を示していきます。
- ・昨年度との比較から、本年度は「清掃への取り組み」への評価が上がっています。2学期の指導重点のひとつとして清掃活動に力を入れてまいりました。開始時刻の黙想の徹底、15 分を清掃に集中できるような活動の工夫をしてまいりました。
- ・「楽しい学校生活」では評価が下がっています。「明日また学校に来たい」と子どもたちが思えることが最高の学校づくりだと考えておりますが、結果を真摯に受け止めるとともに、お子様の学校生活をご家庭でお支え頂いていることに大変感謝しております。

＜児童のアンケートから＞



児童の評価



項目	令和6	令和7	比較	項目	令和6	令和7	比較
見通し	86	88	+2	あいさつ	85	83	-2
アイデア交換	93	89	-4	くつそろえ	86	85	-1
振り返り	70	77	+7	清掃無言	77	80	+3
ちがいをチカラ	82	83	+1	授業準備	89	90	+1
学級の宝	94	95	+1	聞く姿勢	90	91	+1
基礎基本の定着	85	89	+4	楽しい学校生活	96	94	-2
理解	95	94	-1	自己肯定感	85	87	+2

【考察】

- 多くの項目で、80%以上の肯定的評価が得られました。
- 学習に関する設問「見通し」は昨年度を上回っていますが、「アイデア交換」は下がっています。また「振り返り」は昨年度を大きく上回っているものの、他の項目に比べて低い状況です。これは教職員内評価と同様の傾向にあります。3学期も「振り返り」の充実にさせていきます。
- 「学級の宝」では多くの児童が肯定的に評価しています。次年度も活動の中核として位置づけていきます。
- 「あいさつ」では保護者評価(前述)は比較的低いですが、児童の評価はそれに比べて高くなっています。気持ちの良いあいさつ、また相手に伝わるあいさつになっているか、子どもたちが見返せる手立てが必要だと考えています。
- 「楽しい学校生活」「自己肯定感」については、否定的な評価をした少数の児童にこそ目を向けていく必要があります。日々の見取り、なかよしアンケートを活用することで把握し、相談の時間や保護者懇談を通じて改善していきます。

学校評価アンケート「学校への意見・要望」にご協力いただきありがとうございました
学校へのご意見・ご要望で多かったものは以下のような内容でした。ご意見・ご要望に対する回答を掲載させていただきました。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

○雨の日の運動会の実施について

→複数の候補日が設けられているのにもかかわらず、天候が良い日をなぜ選べなかったのかというご意見を多くの保護者からいただきました。雨天の運動会になったことで子どもたちや参観された方につらい思いをさせてしまったことを反省しております。1日の内で天気が急変しやすいこの時期ですので、子どもたちが万全の状態で運動会に臨めるように候補日も考慮して計画していきます。

○トイレが汚れている。子どもたちのあいさつができない。

→授業参観でトイレをご利用された際に掃除が行き届いていない、またPTAの旗振りの際に子どもたちが挨拶を返してくれないというご意見が多く寄せられました。トイレに限らず清掃指導については職員会議でも課題点として挙げられ、2学期の指導の重点として職員が担当の持ち場を決めて子どもたちと清掃活動に取り組んできました。職員1人あたりの持ち場も多いことから指導の手が十分に入らない箇所も実際のところあります。人権月間の全校道徳の校長講話ではトイレ掃除やあいさつの大切さについて子どもたちに考えさせてきました。掃除もあいさつもまずは職員が手本を示し、子どもとともに取り組むことを大切に考えています。保護者の方におかれましても家庭で、また旗振りの際に子どもたちにご指導いただければ幸いです。

○登下校時に駐車場が混み合う

→送迎の際に自家用車が駐車場に入れず、渋滞して迷惑をかけており、特に雨天時は顕著であるというご意見を頂いています。児童数に対してかなり限りがあるスペースです。なぜもっと歩いて登校しないのかというご意見もいただいております。登下校は保護者の方の判断にはなりますが、学校としてはできるだけ徒歩での登下校にご協力いただきたいのと、駐車場は保護者の方が譲り合ってご利用いただかようお願いします。なお、通学バスが停車する通路の自家用車の乗り入れはしないように引き続きお願いします。

○配付物をデータで送ってほしい

→ペーパーレス化が進んできており、最近増えているご要望です。個人情報の懸念から学年学級通信は難しいと考えていますが、今後はできるところはデータ化していきます。

○大切なご指摘やご意見をいただいております。「もっと子どもを見てほしい」「問題が起きた時にしっかり情報を伝えてほしい」貴重なご意見をありがとうございました。学校として真摯に受け止め、今後の改善につながるように努めてまいります。

○学校やPTAへのたくさんのお褒めのことばをいただいております。

PTAが子どもたちのために頑張って活動している。職員がいつも気持ちの良いあいさつをしてくれる。知恵の木の活動など子どもたちが自分の考えで活動できる時間があることで力を伸ばしてくれそう。昨年度よりの時間割が分かりやすくて良い。校長のブログをいつも見ている。など

■ 2月の予定 ■

2日(月) SC来校(PM)	12日(木) 1・2年参観日
3日(火) 児童会立会演説会	16日(月) SC来校(PM)
5日(木) 来入児保護者会(1年生3時間授業)	19日(木) 3・4年参観日・5年スキー教室
6日(金) 5・6年参観日	20日(金) 図書館の本の返却最終日
3年スケート教室	25日(水) SC来校(AM)
9日(月) 4・6年スキー教室	26日(木) コスマス・おひさま参観日
10日(火) 児童総会	27日(金) 職員研修日(4時間授業)

学校文集「おーい大空」は本年度からはおこなわないこととします

本校独自の教育課程として、開校以来「知恵の木の活動」に取り組んできました。そこでは、特に一昨年度より、児童がこれまでの学習について発信(アウトプット)し、聞いていただいた方から意見やアドバイス(フィードバック)をしあう活動を大切に考え、多くの場面で設定しています。

国語科の指導内容には、「読む・書く・話す・聞く」の4つがありますが、書く・話す・聞くがこの活動に該当します。本校では、相手を前に自分の学んだことを発信するという《話す活動》と、フィードバック《書く活動》をし、それを生かす《聞いたことを生かす活動》に、重点的に取り組んできています。

新しい活動を取り入れながらもこれまでのよう文集を作る《書く活動》という双方を、限られた時間の中で続けていくことが難しくなってきました。これまで文集の作成については、保護者の方から賛否のご意見がありました。学校としても検討を重ねましたが、文集の作成は本年度からはおこなないと考えています。ただし、国語学習の書く活動からできた文章や作品等は、個人の成長が分かるように今後も持ち帰るようにします。

なお、これまでもPTA役員の方と話し合い、ご意見をいただきました。今年度のPTA役員会でご了承いただいておりますことを申し添えます。

【お願い】

来年度の学級数と職員配置数にかかりますので、3月から4月に向けて、本校からの転出が決まっている(または可能性がある)ご家庭は分かった時点で担任までお知らせください。よろしくお願いします。

(文責:教頭 秋山)